

〈 日 程 表 〉

回 数	教 科 名	東 部 会 場	西 部 会 場
1	聴覚障害の基礎知識	6月14日(土)	6月16日(月)
2	要約筆記の基礎知識Ⅰ	6月21日(土)	6月23日(月)
3	日 本 語 の 基 礎 知 識	動 画 視 聴	
4	要約筆記の基礎知識Ⅱ	7月5日(土)	7月7日(月)
5	要約筆記の基礎知識Ⅱ	7月12日(土)	7月14日(月)
6	要約筆記の基礎知識Ⅱ 話しことばの基礎知識	7月19日(土)	7月21日(月)
7	話しことばの基礎知識	7月26日(土)	7月28日(月)
8	話しことばの基礎知識	8月2日(土)	8月4日(月)
9	社会福祉の基礎知識Ⅰ 聴覚障害運動と手話	動 画 視 聴	
10	社会福祉の基礎知識Ⅰ 社会福祉の基礎知識Ⅱ	動 画 視 聴	
11	伝 達 の 学 習 Ⅰ 伝 達 の 学 習 Ⅱ	8月9日(土)	8月11日(月)
12	要 約 の 学 習 Ⅰ 要 約 の 学 習 Ⅱ	8月23日(土)	8月25日(月)
13	振 り 返 り 実 習 チ ー ム ワ ー ク	8月30日(土)	9月1日(月)
14	チ ー ム ワ ー ク	9月6日(土)	9月8日(月)
15	チ ー ム ワ ー ク	9月20日(土)	9月22日(月)
16	演習(模擬要約筆記) ノ ー ト テ イ ク	9月27日(土)	9月29日(月)
17	ノ ー ト テ イ ク	10月4日(土)	10月6日(月)
18	ノ ー ト テ イ ク	10月11日(土)	10月13日(月)
19	演習(模擬要約筆記) ノ ー ト テ イ ク	10月18日(土)	10月20日(月)
20	対人援助	10月25日(土)	
21	演習(模擬要約筆記) 要約筆記者のあり方	11月1日(土)	11月3日(月)

※ 1 10:00 ~ 16:00

※天候等の影響により、日程が変更、延期になる場合があります。

※ 2 10:00 ~ 15:00 (会場:倉吉市)

〈受講申込先・問い合わせ先〉

〒682-0822 倉吉市葵町724-15

鳥取県中部聴覚障がい者センター

TEL:0858(27)2355/FAX:0858(27)2360

URL:<https://torideaf.jp>

2025 年度

要約筆記者養成講習会

受講のご案内

手書きコース

パソコンコース

受講者募集!

「要約筆記」とは…

文字による情報を必要とするきこえない・きこえにくい人に話し手の話の内容をつかみ文字にして伝える技術です。この講習会を受講して、きこえない・きこえにくい人の社会参加のパートナーになってみませんか？



きこえない・きこえにくい人の
約 80%は、文字による情報
を必要としています。



東部
会場

2025 年6月14日～11月1日
(土曜日開催)

鳥取県立福祉人材研修センター
(鳥取市伏野1729-5)ほか

10:00～15:00

西部
会場

2025 年6月16日～11月3日
(月曜日開催)

米子コンベンションセンターBIGSHIP
(米子市末広町294)ほか

10:00～15:00

※詳細な日程は、裏面をご覧ください。

公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会

鳥取県中部聴覚障がい者センター

<実施主体>

鳥取県、鳥取市

※公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会に委託

<後援>

鳥取県難聴者・中途失聴者協会、いなば難聴者の会

特定非営利活動法人全国要約筆記問題研究会鳥取県支部

要約筆記の会「白うさぎ」、要約筆記グループ「まるよ」、要約筆記の会「虹」

<受講内容>

厚生労働省要約筆記者養成カリキュラムに準じて実施。

(1) 実技 (2) きこえない人等に関する講義

<修了条件>

全86時間中72時間の出席で修了証を交付する。(講習時間は概ね4時間/回で全21回開催)

<対象者>

高校生以上で、きこえない・きこえにくい人の社会参加に理解と熱意を有する方。

(受講修了後、鳥取県登録要約筆記者選考試験を実施)

※その他受講条件あり。(詳細は申込書に記載)

<受講料及びテキスト代>

各コース：3,000円

テキスト代：(テキストは共通です) 4,000円

「要約筆記者養成テキスト(第2版)」(上・下巻)

<受講申込締切>

2025年6月6日(金) ※必着

<受講申込方法>

郵 送：封筒に「要約筆記者養成講習会受講申込書在中」と赤で記入し郵送してください。

※封筒裏面に必ず自分の住所・氏名をご記入ください。

FAX：FAX送信後、確認の連絡をしてください。

ホームページ：下記QRコード、または当協会ホームページの申込フォームより申し込んでください。



受講者のこえ



Aさん(パソコン・手書きコース受講)

「今が一番若いんだ」その言葉に後押しされ要約筆記という未知の世界に飛び込みました。講師、当事者の話、すべてが新鮮で興味深く、勇気と希望をもらいました。

1年目はパソコン、2年目は手書きを受講、2年目の試験で合格し、ようやくスタートラインに立つことができました。

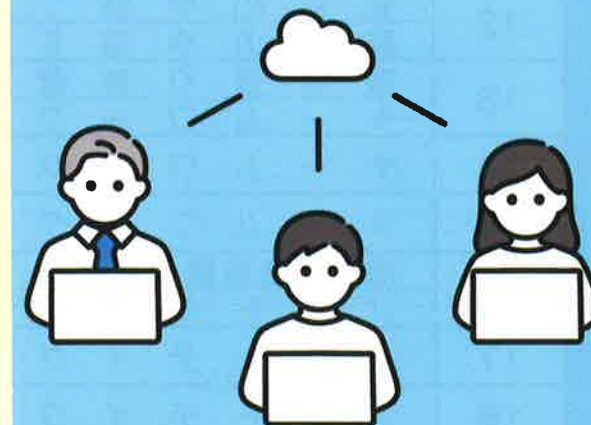
「きこえる世界」と「きこえない・きこえにくい世界」をつなぐことができるかもしれないと思いました。

Bさん(パソコンコース受講)

事務作業でパソコンを使う仕事をしているので、それがなにか役に立つのならと気楽な気持ちで受講しました。

議事録などの感覚で要約するのかと思いきや、きこえない・きこえにくい人のために、タイムリーにわかりやすく音声文字にする「通訳」という仕事。

相手がいるということの緊張と、求められていることへのやりがいも感じています。普段なにげなく喋っている日本語を、改めて意識するきっかけにもなりました。



講師コメント

きこえない・きこえにくい人達の社会参加を支援する

要約筆記の基本を、やさしい講師陣が丁寧に指導します。



LINE



Instagram



申込フォーム
「よくある質問Q&A」

こちらのQRコードから
ご覧いただけます。